

①企画タイトル

おたすけ! 団地ラジオ

②アピールポイント、キャッチコピー (30 文字程度)

お困りごと、お手伝いしてもらいたいことをラジオにお願いしてみませんか?

③企画内容 (いつ、どこで、誰に向けて、何を、なぜ、どのように行うか)

ミュージアムの営業日・営業時間内にミュージアム棟の1階のスペースもしくはスターハウスの1階で、団地の住人のお困りごと、助けてもらいたいことをラジオで発信し、団地でお手伝いできる「助っ人」を募集するという企画です。ラジオのパーソナリティ(DJ)も住人が担当し、住人による住人のためのラジオを目指し、住人の親睦を深めるとともに、将来的に地震などの災害時の情報発信基地としても「団地ラジオ」が役立つのではないかと考えます。

例えば、粗大ごみの搬出の場合。

依頼者は「団地ラジオ」にタンスの粗大ごみ置き場への搬出を手伝ってほしいと依頼(電話)をします。

何号棟で何月何日までに粗大ごみ置き場までタンスを出すのを手伝ってくれる人「助っ人」を募集します、とラジオで呼びかけます。

それを聞いて手伝える人がラジオ局に電話をして何号室か聞いて、当日、搬出を手伝います。

また、依頼者は困りごとを解決、手伝ってくださった「助っ人」にお礼もできるしくみをつくります。

団地内での通貨を、例えば「UR」(1UR=100円くらい)とし、依頼者はラジオ局で現金を「UR」に交換し、手伝ってくれた人に「UR」を渡します。

手伝った人は「UR」をラジオ局に持っていくと、事前に依頼者から預かった現金を「助っ人」に渡します。

ラジオ局が仲介することにより、手伝わずにお金をもらうといったトラブルの防止につながると推察します。

基本的にはボランティアであることが望ましいですが、助っ人が現れない場合も考慮し、テレビドラマ番組「必殺仕事人」方式ではあるが、金額は依頼者の希望を第一とし、謝礼がある方がいいのではとこのしくみを考えました。ただし、ラジオ局としては現金を預かるという防犯上のリスクがともなうことも考慮しなくてはなりません。

ラジオの配信は Office Stray Cat の「ミニFM」か「インターネットラジオ配信」Office Stray Cat - Broadcast and Broadband (stcat.com)を検討しています。

<https://stcat.com/%e3%82%a4%e3%83%b3%e3%82%bf%e3%83%bc%e3%83%8d%e3%83%83%e3%83%88%e3%83%a9%e3%82%b8%e3%82%aa/>

このネットラジオはどのコースを選ぶかにもよりますが、メンテナンスなどランニングコストがかかるので、資金源はパーソナリティ希望者からのエントリー料金で充当する計画です。

団地住人の誰でも希望すれば、例えば1時間1000円くらいで、パーソナリティとして自分の好きなことをラジオで発信できることとします。人数は1人から複数名でも構いません。

内容は北区の情報はもちろん、趣味や推しに関するトーク番組、ピアノの演奏や歌を披露してもいいし、発表会や個展などの個人的活動のPRでも構いません。

エントリー料金を徴収することにより、公序良俗に反する発信内容の抑止力にもなると考えます。

将来的には団地住人とどまらず、東洋大学の学生にもラジオを利用してもらうようにすると、災害時の協力が得られるのではないかと期待したいです。

